

平成 29 年度第 4 回東海市地域公共交通会議 会議録

- 会議の名称 平成 29 年度第 4 回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 平成 30 年 2 月 16 日（金）午前 10 時から正午まで
- 開催場所 東海市役所 302 会議室（3 階）
- 出席委員 佐治錦三（会長）、渡邊元芳（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
勝田厚秀、江尾国博、天野朝之、藤田重記、大脇美一、清 信裕、
小林治代、伊藤 勝、大里美栄子、秋山和子、福士直子、
吉川 登、岡田英雄、守山 睦、富田弘敏、脇田英生、桑原良隆、
花田勝重
- 欠席委員 古田 寛、小野偉稔、百田勇次、川口松廣
- 事務局 総務部長、交通防犯課長、同主任、同主事
- 福祉有償運送説明者 市民福祉部高齢者支援課長、同主事補
- 傍聴者の数 3 人
- 議題及び審議の概要
 - 1 開会のことば
 - 2 会長あいさつ
(会長)

今回の会議で本年度は終了となるが、来年以降も継続して会議を行っていくので、よろしく願いしたい。
 - 3 報告事項
 - (1) 前回の会議録の確認について
 - (2) 循環バスの利用状況等について
 - (3) 高齢者運転免許証自主返納推進事業について
事務局による資料 2、資料 3、資料 4 の説明
(委員)

自主返納の理由についての集計が興味深いが、理由について何かに記載があるのか。

(事務局)

支援制度を利用する際に記載する申請書に、返納理由について選択式の項目を設けている。その集計となる。複数選択していただく形式となる。

(委員)

前日も申し上げたが、愛知県警と中部運輸局で公共交通会議を実施している自治体と連携して、高齢者の運転免許証自主返納を推進していきたいと考えている。理由まで集計しているケースは稀であるので、引き続きデータの集積を続けていただきたいと思います。

(議長)

らんらんバスの乗客は冬場になると人が減るが、昨年に比べると増えているため季節変動というものもあると思う。2月、3月、と、観察を続けていければと思う。

高齢者無料化パスケースも、全体の利用者の3割と安定した利用を見せており、一般の利用者も順調に増えているように見受けられる。

3 報告事項

(4) 東海市の福祉有償運送の現況等について

高齢者支援課による資料5の説明

(委員)

説明の補足となるが、福祉有償運送とは白いナンバープレートでの運送を例外的に認める制度である。本来であれば、緑のナンバープレートでしかできない有償の運送を、白いナンバーでもできるという制度。ただし、地域の運営協議会で協議が調わないといけなし、運転手も指定のところで適性検査を受けたりして、安全確保をしていないとできない。

(議長)

運営協議会でも法人の審査がある。ドライバーの適正や、登録者についても審査を行う。

(委員)

タクシー事業者も、有償運送の運営協議会に参加させていただいている。それぞれの地域でボランティアに近い形でNPOが実施しているが、なかなか台数の限り等もあり、毎日使いたいという場合でも対応できない場合もある。一

方で、自分で立ち上がれないような方がタクシーを利用する時には、運転手に大変負荷がかかる場合もある。公共交通はユニバーサルが望ましいという観点もあり、車椅子で乗れるようなものを等という声上がる一方で、福祉有償運送を一生懸命やられている方がいらっしゃるのに意外と知られていないという現状がある。広く知っていただければという思いもあって本日説明をお願いしているところである。

(委員)

入会金とか、会費とかはどのくらいが支払われるのか。公的な補助はあるか。

(高齢者支援課長)

事業者によって異なる。市の補助はない。

(事務局)

個人会員の年会費は3,000円程度、入会金は無料のところや1,000円程度かかるところなど、まちまちである。

(委員)

対価というのは認可か。

(委員)

登録である。

(委員)

登録はどこで行うのか。

(委員)

運輸局であるが、まずは運営協議会で協議が調っていないとできない。

(副会長)

さつき福祉会では、さつき福祉会の中で福祉有償運送を利用する方に登録していただいて、利用料については月単位で納めてもらっている。

(委員)

さつき福祉会以外の、一般の方が利用はできないのか。

(副会長)

原則、さつき福祉会の利用者のみとなる。

(委員)

各法人で手法が違う。限定的なものもあれば、一般的に使っていただけるものもあるがいずれにせよ認知度が低い。

(会長)

今後、バスの運行形態を様々に検討していく中で、福祉有償運送という手段も重要になってくる。もう少し具体的な中身を報告できるようにしてほしい。

また、全国で先駆けて福祉関係のNPO法人を立ち上げたのもこの地域であり、福祉有償運送もこの地域が活発なのではないか。制度の趣旨を整理をして何がしかの資料をいただけるとありがたい。

(議長)

福祉有償運送について、ドライバーの高齢化の課題がありやめてしまう地域もあるという。持続可能なシステムが重要。

5 協議事項

(1) 東海市地域公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料6の説明

(委員)

地域懇談会はどのような対象でどのくらいの回数実施するのか。

(事務局)

詳細はこれから詰めていくが、市内には12コミュニティがあるため、それぞれのコミュニティで個別的に開催していきたいと考えている。あらかじめ懇談会の案内を行い、集まっていただく。幅広い年齢層になるかと思う。

(議長)

コミュニティバスの議題にプラスして、防災などのテーマをからめて懇談会を実施するのもよいと思う。

(委員)

高齢者が多く車内事故を懸念している現状があるが、課題解消に向けて話し合うことを想定しているか。懇談会に高齢者の方が多く参加するのであれば、利用者の実態等も併せて聞けるといいのではないか。

(事務局)

ある程度、利用者のニーズについては事務局としても課題として把握してい

る。当然、コミュニティ単位の地域懇談会でもこちらで把握している課題の提示を行い、利用者の現状等も聞いていきたい。

(会長)

東海市は12のコミュニティを小学校区ごとに設置しており、地元の人に運営をお願いしている。コミュニティ単位で毎月定例的に集まっているため、そこをうまく活用して検討していきたい。防災や子育て等のテーマも協議できる体制でもある。こうした機会を活用して、意見を聞けるように現在計画しているところである。

<議長による承認採決>

5 協議事項

(2) 平成29年度東海市地域公共交通会議補正予算案

事務局による資料7の説明

<議長による承認採決>

5 協議事項

(3) 平成30年度東海市地域公共交通会議予算(案)について

事務局による資料8の説明

(議長)

事務費に地域懇談会の計上がないがよいか。

(事務局)

計上予定なし。

<議長による承認採決>

5 協議事項

(4) 平成30年度循環バス無料運行の実施について

事務局による資料9の説明

(委員)

前回、利用者がそんなに多くないのではという話があったものの、満員になるほど利用者がいるという印象がある。

(事務局)

事務局としては、イベントによってはシャトルバスの運行も実施しているた

め人数が分散していると考えていた。実際は、平成29年11月に実施した東海秋まつり時には、南ルート第2便は30人以上の方が降車していた。第2回の会議で無料運行の取りやめについて提案したが、再度、イベントごとの利用状況の検証が必要であるため、こうした形で提示させていただいた。

(委員)

告知の問題もあると思う。どれだけ浸透しているかは、利用者の数に大きく影響する。

(議長)

告知等の案内はどのようにしているか。

(事務局)

市の広報紙や、イベントで発行するパンフレットに案内を載せて周知は行っている。

(委員)

バスに横断幕などでの周知も有効ではないか。

(委員)

バスマスクのことではないか。

(事務局)

検討する。

(議長)

無料運行実施日は、イベント会場に限らず全路線が無料になるため、イベント以外でも利用をしていただき、バスに愛着をもっていただくことが大切である。

<議長による承認採決>

6 閉会のことば